



南陽市議会だより

議会だより

2022
1月
vol.167

吉野橋



花見橋



湯河原橋



花台橋



大橋

contents

- 補正予算…………… 2～3
- 予算特別委員会…………… 4
- 一般質問…………… 5～8
- 各常任委員会…………… 9～11

ホームページはこちらから

南陽市議会



新年のごあいさつ



南陽市議会議長

高橋 篤

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延する中、市民の皆様からご理解とご協力を賜り、各議員が自己の良識と信念に基づき議会活動に精励し、地域振興や市政発展に尽力できましたことから御礼申し上げます。

さて、コロナ禍において、本市の観光や経済、市民生活に多大なる影響が及ぼされております。感染拡大を防止しながら一日も早く経済活動を正常化し平穏な日常を取り戻すため、皆様の安全・安心な生活の確保と福祉の向上を目指し、議会としての役割と責任を果たして参る所存であります。結びになりますが、この状況下の諸課題に真摯に取り組みまれておられる全ての皆様に敬意と感謝を申し上げますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

11月29日 第3回臨時会

コロナ対策 緊急支援 職員等の期末手当減額

承認1件

3回目のコロナウイルススワクチン接種体制確保、誘客キャンペーン事業による緊急経済対策等の一般会計補正予算の専決処分を承認し、6089万円を補正した。補正後の一般会計予算総額は168億7845万円となった。

条例2件

県人事委員会勧告により期末手当の支給割合を3・25月から3・20月に減額。

●特別職の給与に関する条例の一部改正

●一般職の給与に関する条例の一部改正

以上2件を総務常任委員会に付託し、報告を受け起立採決の結果原案の通り可決した。

12月 定例会 2日～21日

県内初 健全財政運営条例 新浴場「湯こっと」条例 設定

条例・その他8件

- 県内初となる健全財政運営条例を設定
- 新公衆浴場「赤湯温泉 湯こっと」の開湯・統合による「いこいの家」「こわの湯」「あずま湯」の廃止等、赤湯財産区条例の設定・制定 3件
- 産科医療保険改正に伴う国民健康保険条例の一部改正
- 赤湯学童保育施設等の指定管理者指定 3件

補正予算3件

一般会計、財産区特別会計、介護保険特別会計の補正。
今回の一般会計補正予算では、烏帽子の湯改修工事、宮内小学校グラウンド擁壁改修工事、米俣下落対応稲作支援等を主な内容とし、1億5200万円を補正した。

一般質問

7名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

追加議案1件

最終日に、高騰している灯油購入費等の追加助成、子育て世帯臨時特別給付金10万円の現金給付、凍霜害対応「リターンスタックヒーター」の購入助成等、一般会計補正予算1件が追加議案として提案され、全員異議なく可決した。

補正額は、4億3209万円となり、補正後の一般会計予算総額は174億6298万円となった。

米価下落対応稲作経営緊急支援

1,200万円

コロナ禍による需要減で令和3年産米の価格が大幅に下落したことから、コメの生産者が営農を継続できるよう、作付面積に応じて生産費の一部を助成するもの。(作付面積20a以上が対象)

魅力ある園芸やまがた 所得向上支援事業

450万円

県の凍霜害緊急支援事業の対象に、新たに「リターンスタックヒーター」の購入費を追加するもの。1台当たり想定単価33,000円の1/2の額16,500円を補助する。



赤湯財産区への繰出金

2,030万円

烏帽子の湯の老朽化により、コロナ感染症対策などの衛生管理が困難になっているため、洗い場面積の確保、脱衣所、下足棚の改修、トイレの床面改修などを行う。

生活困窮者自立支援事業

631万円

コロナ禍による生活困窮者に対する同事業の申請受付期間が令和4年3月末まで延長されたことによるもの。社会福祉協議会が窓口となり実施している緊急小口資金等の総合支援金の再貸付が終了し、さらなる貸付を利用できない生活困窮者の方の自立を支援する。

令和3年度 12月定例会

一般会計補正予算

5億8,409万円

出産支援給付金事業

1,222万円

出産費用の負担軽減のため、山形県の平均的な出産費用と出産育児一時金(42万円)との差額の1/2の額(1子当り58,000円)を、本年度中の出生に係るもの(妊娠満12週以後の死児の出産を含む)について、県補助を受けて給付する事業。

灯油購入費の追加助成

715万円

灯油価格が高騰しているため、市単独で5,000円/世帯を追加助成するもの。

宮内小グラウンド^{ようへき}擁壁改修等

3,219万円

昭和47年校舎改築時に造られた擁壁に老朽化等による傾きが見られ、現在使用されているプール側に倒れる危険があることから、夏のプール開設時まで改修し、安全を図るものなど。(写真は左側から^お庄されて擁壁部分が膨らんでる)



予算



歳入

地方創生 臨時交付金

Q国会で地方創生臨時交付金の補正が行なわれ、地方配分もされが市への配分は。

A国の方針が決まらなため、試算は未了。

現在、円滑な予算措置ができるように各課で交付金活用の優先度について検討を進めている段階で、物価や燃料費の高騰にも留意し執行する考えだ。

歳出

発達障がい児の現状

Q少子化の状況下で発達障がいの子どもは全国的に増加しているが。

A特別支援学級には小学校で34名、中学校で12名在籍。

発達障がい児の学びの場として、特別支援学校・特別支援学級及び通級での学習があるが、本市では特別支援学級を10校中8校で開設し、切れ目のない指導を行なうことに留意し対応している。

公共施設の管理

Q公共施設等総合管理計画策定事業が改定されるが、事業委託を行なう意味は。

A地方債の条件に合致させる必要があり、統一して行なうとの県の指示に従い委託を行なった。

Q問題は事業委託がコストに見合うかだ。

老朽化した施設の管理は大事なことだが、予想外の部分も改定に入らねばならぬ。

Aアクションプランで点検し、突発的なものは個別に対応している。今後施設の老朽化に伴う問題は全国的に発生していくが、人口減少社会の中で計画的な管理を行なっていく。

出生率低下への対応

Qここ10年間の市内出生数の推移と、それに対する考えは。

A年間平均200名程度の出生者がいるが、毎年若干の減少傾向だ。出生数の減少傾向は全国的課題だが、合計特殊出生率が2人以上

になるように国全体で取り組む必要がある。市では働きながら生み育てることが出来る街を念頭に、働く場の確保も含めて対策の拡充を計ってきたが、減少に歯止めがかからず危機感を持っている。

Q出生率低下への対応は重要な課題だ。知恵を絞って対応してほしい。



生理用品配備

Q小中学校のトイレに生理用品を常備する考えは。

A保健室配備で保健の先生とコミュニケーションをとることが大事という考えで、トイレへの配備は行なっていない。

Q突発的な時にすぐに使える安心感が大事で、保健室に行くことをためらう子どももいる。

A大事な問題として、学校、生徒も含めて定期的に協議を続ける。

健康診断システム

Q健康管理システム事業はデジタル化のために行なうのか。

A現状のシステムは市独自のものだが、今後、置賜広域で共有できるものにする。国のシステムに移行するための準備段階の事業。

財産区特別会計

Q烏帽子の湯の改修で、浴室の壁をなくして洗い場を増設するようだが、壁の強度は確認しているのか。

A一級建築士の確認では問題ない。

思うが、増やす考えはあるのか。

A今後、状況を見ながら検討する。

追加補正予算

臨時特別給付金

Q給付金の支給対象者で申請が必要な方と要件は何か。また、対象者を決める基準日はいつか。

A対象者のうち、児童手当支給者は令和3年9月末日を基準としている。また、これ以降に出生した児童と、児童手当支給対象外の高校生は市で把握できないため申請の必要がある。



鋭く迫る！ 一般質問

こんな議案を審議しました

鋭く迫る！ 一般質問

委員会のこぼれ

その他

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。
 一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。
 12月定例会では、12月6日と7日に7人の議員が質問を行いました。
 ※質問の内容を要約して掲載しています。
 ※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。
 会議録は2月に公開予定です。

映像配信は
こちらから



- | | |
|-----------------|--|
| 1 山口 裕昭 (無会派) | 市長選の対応 / コロナ後の経済対策 / ゼロカーボンの進捗 |
| 2 佐藤 憲一 (政風会) | 第6次南陽市総合計画 / 街づくり(地域づくり) |
| 3 島津善衛門 (保友クラブ) | シビックテック推進 / 科学的介護の導入現状 農業従事者の後継者問題 / 自主防災組織の活性化 |
| 4 山口 正雄 (政風会) | 持続可能な中学校運動部活動 |
| 5 高橋 一郎 (無会派) | 旧ハイジアパークから烏帽子山公園一帯の整備 |
| 6 佐藤 明 (無会派) | 来年度の予算編成とその優先順位 / 介護保険の実態 |
| 7 高岡 亮一 (無会派) | コロナ禍出口戦略 / 市内の遺跡と文化財の保護 |

山口 裕昭 議員



市長選出馬の考えは

◆市長選出馬の考えは
 ◎7月の任期満了に向け、市長自らが進退を明らかにすべき時期だ。

〈市長〉今後のコロナ禍への対応や収束後の経済復興、また「南陽を世界ブランドに」という目標を達成すべく、次期市長選への出馬を正式に表明する。
 議員各位や市民の皆様にはご理解とご支援を賜りたい。

◆コロナ後の経済対策
 ◎コロナ収束後に向けた経済対策の進捗は。

〈市長〉緊急経済対策で6月からプレミアムクーポンを発行した。利用期間の年末までの需要に効果を期待する。また、県内初の全国

対象の宿泊割引事業を実施し、首都圏や関西、九州地方からの誘客に効果が見られた。

◆ゼロカーボン宣言
 ◎具体的な進捗は。

〈市長〉「エコノミックガードニング」は、地域の中小企業が成長することによる地域経済

の活性化を目指すもので、市内経済活性化の上でも有効といえる。より効果を高めるためには様々な機関とのネットワークが必要のため、他自治体の取り組みなどを研究していく。



〈市長〉現在現状把握の段階で、年度内には目標設定の予定だ。
 今後は、公共施設の省エネ化などの課題にデータを基に優先順位をつけて対応する。

佐藤 憲一 議員



第6次総合計画の推進策は

◎第6次総合計画の基本理念コンセプト、基本計画、実施計画を具現化することで、本市の将来都市像である「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」を実現できるものと確信するが、32項目の「基本施策」を進めるにあたり、行政組織を有機的に運用し、また具体的な施策を推進するにあたり、どのような形で統括していくのか。

〈市長〉それぞれの目標を達成するための具体的事業を3カ年実施計画により策定し、事業の優先順位を定め、実施計画の全ての事務事業について進捗管理を行なっていく。

具体的には、年度毎に事務事業の業務量と成果を数値化し、計画値に対する実績値もとに達成状況を管理するとともに、必要性や公平性、効率性など5つの項目からその適否を担当課内及び庁内会議で評価し、次年度の施策や3カ年実施計画にフィードバックすることで、将来都市像の実現に向け前進を図っていく。

◎南陽市国土利用計画も、第6次総合計画に即しながら改定されたが、「まちづくり」の観点から具体的な施策、また推進策は。



方針として「限りある市土を、自然環境の保全に配慮しながら、活力ある地域の形成に向けて、効果的・効率的に利用する」ことを基本方針に掲げ、本市の8つの行政区分と地域区分が異なるものの、地域の特性と、各地区で進められている地域づくりを十分に生かしながら、活力ある地域の形成に努める必要があると考えている。

◎デジタル技術やオープンデータを活用し、市民の手で行政や企業と連携しながら地域の様々な課題を解決しようというシビックテックの取り組みが加速している。市民が主体的に課題解決に貢献するための環境を整えることが必要。

〈市長〉本市では、道路などの危険箇所発見や、災害時の被災箇所写真などを、市民がLINEを使って、市に通報できる仕組みを昨年3月より行っている。市民と行政の双方にメリットがある取り組みを進めている。



◎農業は深刻な高齢化の問題を抱えている。

〈市長〉「南陽市自主防

島津 善衛門 議員



市民が主役の行政を

◎デジタル技術やオープンデータを活用し、市民の手で行政や企業と連携しながら地域の様々な課題を解決しようというシビックテックの取り組みが加速している。市民が主体的に課題解決に貢献するための環境を整えることが必要。

農業人口の35歳未満就農は5%で、小さな政策では限りがある。大胆な発想が必要。

〈市長〉本市の農業従事者の平均年齢は66歳で、高齢者の耕作農地は全体の70%。国では「農業次世代人材投資資金」の後継事業として「新規就農者経営発展支援事業」が創設されるようだ。地域農業を下支えしている中小規模の生産者の支援も含め、様々な経営体を適切に支援しながら、市内農業の振興を図る。

◎自主防災組織の活性化のためにも、全市民の防災意識の高揚が必要。

災害組織連絡協議会」が設立された。地域住民が連携・協力して災害から自分たちの地域を守るという基本的役割を踏まえ、防災知識の普及・啓発や防災訓練、安否確認や救出・救護活動、避難誘導、そして避難所の開設・運営など、住民の安全確保や被害軽減のための具体的行動に取り組んでいただく。



中学校運動部活動を 持続可能なものに

◎「部員の減少」「それに伴う教員の減少」「顧問を務める教員の超過勤務」により、運動部活動が現状のままでは維持が困難になっている。生徒数、教員数、部活動数で現在と10年前の状況は。また、10年後の生徒数は。

〈教育長〉3校合わせて10年前の生徒数944名、教員数75名、部活動数32（男女別にする）と50）現在の生徒数766名、教員数66名、部活動数34（男女別生徒数は650名程度。

◎3年生が抜け、1・2年生だけでチームができない部活動数は。〈学校教育課長〉学校単

独での団体競技ができないところも出てきている。



◎部活動の見直しについて、富山県南砺市教育委員会では、10年後の生徒数を見越して、各校にバランスよく部活種目を割り当て、自分のやりたい部活のある学校に学区外からでも通える方法を検討している。

本市での考え方は。

〈教育長〉現在、県内でも試験的に、休日の部活動を地域にお願いする方法や複数校での合同部活動なども行なわれている。本市においても、様々な工夫をしながら進めていかなければならない。学校の考え、指導者、体育協会等に協力頂き、様々な調整役を行政として行なっていく。

◎（仮称）部活動検討委員会の設置は。

〈教育長〉部活動の在り方を検討する委員会の設置を含め、生徒や保護者の声に耳を傾け、生徒、教員、地域の皆様にとって望ましい部活動の検討をしていく。



「四季南陽」と烏帽子山公園

◎「南陽を世界ブランドにする」奥山清行氏監修の「四季南陽」の

大きな計画に合わせて、旧ハイジアパークから烏帽子山公園一帯を整備するのは千載一遇のチャンスだ。市長の考えは。

上野から狸沢農道を抜け、赤湯秋葉山に行く際の駐車場の設置を。〈市長〉烏帽子山公園と併せ、秋葉山より眼下に広がる白竜湖等の見事な景観と観光資源は魅力的だ。実現性を研究する。

◎薬師寺南側の側道から見晴台への周遊ルートの整備。

〈市長〉具体化に向けては用地買収が必要など

困難な課題がある。安全に散策周遊できるようルートの整備等を検討する。

◎見晴し台の周辺整備。①アクセス道路整備及び駐車場の設置

〈市長〉現在は、急勾配、急カーブなどの課題がある。「烏帽子山公園周辺整備計画」を具体化していく中で現道の補修等、安全性に配慮しながら検討する。

②ビューポイントとしての整備

〈市長〉見晴台周辺の全体的な整備計画も含め、地元の関係団体との意見交換及び庁内での調整を進める。

③見晴らす際の支障木の伐採

〈市長〉民地については、民間の方のご協力をいただきたい。



◎御神坂下トイレの改修は行なわないのか。現状の男女出入り口が同じトイレは、観光地として悪印象で不要だ。

〈市長〉建築後49年が経過するも大きな劣化はない。利用者もおり当面は修繕をして機能維持を図る。

◎上の駐車場のトイレの洋式化は。

〈市長〉財源等を考慮して計画的に検討する。

佐藤 明 議員



新年度予算編成に 市民の声を!!

◎来年度の予算編成の
基本姿勢、重要施策は。

〈市長〉新型コロナウイルス感染症の甚大な影響を念頭に「ウィズコロナ」「ポストコロナ」の行政活動を基本とした予算編成を行い、事業の必要性を検証し、スピードを増す社会の変化に柔軟に対応しながら将来にわたって持続可能な行財政運営を基本として予算編成を行なう。特に「旧ハイジアパーク南陽の民間活用」「新温浴施設のオープン」「宮内公民館の整備」などにより交流人口の拡大と地域の活性化を推し進めるほか、窓口などでの行政手続きを減らし、市

民サービス向上を図るDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、SDGsの基

本理念に即し、未来へつながる本市の持続可能性を高めていく事業などを新たな視点で取り組む。



◎我々公人は、憲法を守り、地方自治法の精神である「地域住民の

くらし福祉を守る」と「また、「滞在者の安全を守る」とこのように明記されている。行政は常にその視点で

行政運営を行うべきと考えるが。

〈市長〉地方自治法等は最も重要であり、今後その精神で行政運営に取り組んでいく。

◎税金の見直しは。

〈市長〉日銀等の経済状況判断によると景気は持ち直しの動きとなっていることから、今年度の予算額と比較して増収を見込んでおり、新型コロナウイルスの感染状況によっては、増収幅が小さくなることも考えられる。

DXとは

DX(Digital Transformation / デジタルトランスフォーメーション)とは、進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のことです。

高岡 亮一 議員



コロナ禍出口戦略と 文化財保護

◎ワクチン接種による
副反応の実情は。

〈市長〉発熱や接種部分の痛みの例はあるが、国に報告の事例はない。集団接種会場で救護室利用は44件。

◎二回で済んだはずが

三回必要というのはおかしいと思わないか。

〈市長〉インフルエンザの予防接種を毎年打っていることを考えれば、特にとりたてることではない。

◎マスク着用のデメリットは。

〈市長〉人に会って認識することが難しい。子どもたちが小学校に入學して同級生の顔も、給食時には外して黙食するものの、よく覚え

ていないかもしれない、ということを考えて、大変心が痛む。

◎北町遺跡の現状は。

〈教育長〉大谷地という湿地環境によって、遺物の保存状態が良く、縄文草創期以来の人と環境の関わりが解明できる遺跡として期待されている。愛知学院大

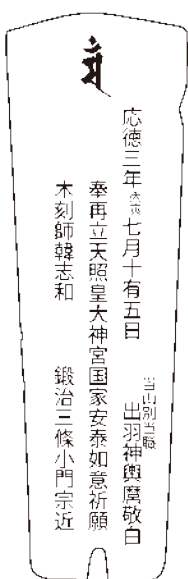
学が主体となり、様々な専門分野の方々が集まって「北町プロジェクト」として調査研究中。今後、大学の協力を得ながら、市民向けの情報提供について検討

討してゆく。

◎池黒皇大神社所蔵の
県内最古の「応徳三年
(1086)棟札」(南陽市指定文化財)は日

本最古の可能性もあり、三条宗近と韓志和という歴史的に著名な人名が記されている等、ロマンに富む。今後どうするか。

〈教育長〉日本最古とされる平泉中尊寺所蔵棟札より36年古い年号。その確証を得るための調査手法の検討や、その適切な保存が必要と考えている。



棟札

「赤湯温泉 湯こっと」 設置・管理条例 可決

総務
常任委員会

12月10日

審査報告

付託議案4件

◆健全な財政運営に関する条例の設定

本市の財政状況は社会資本整備や豪雨災害等で、他市より下位。人口減少が進む中、持続可能な財政基盤の構築が急務であり、この実現に向け、市が守るべき「財政規律の基本的な原則」を条文化。今後の予算の妨げとならないよう制限や数値目標は設定しない理念条例。

◆新公衆浴場「赤湯温泉 湯こっと」の設置及び管理に関する条例の設定

現在整備中の新公衆浴場「赤湯温泉 湯こっと」の設置及び管理、利用料金等を新たに定める。

- ・ 利用開始日
令和4年6月1日
- ・ 開館時間
午前6時～午後10時
- ・ 利用料金
次ページ料金表参照

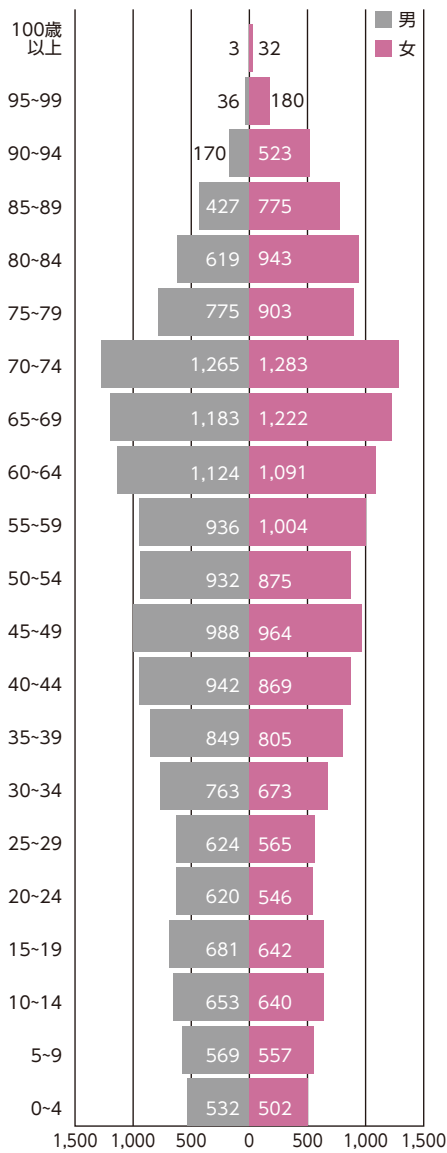
◆赤湯財産区営公衆浴場条例の一部改正

とわの湯・あずま湯の廃止、烏帽子の湯・赤湯元湯の入湯料改定
子ども料金新設定
100円
その他利用詳細あり。

◆赤湯財産区温泉条例の一部改正

湯こっとの新設、いこいの家・とわの湯・あずま湯の廃止による供給量の変更・廃止、温泉事務所の移転等。
委員より、慎重な質疑がなされ、審査の結果、全員異議なく可決した。
(委員長 島津善衛門)

南陽市
人口
構成図
令和3年4月1日
現在：総数30,285人
男14,691人、女15,594人



現在の温泉事務所

南陽市公衆浴場 「赤湯温泉 湯こっと」 利用料金

| 区分 | | 料金 | 摘要 |
|---------------------|---------------------------|--------------------------|--|
| 一般浴室 入湯料 | 大人（中学生以上） | 300円 | 1. 1人1回 2. 3歳未満の乳幼児は、無料とする。 |
| | 子ども（小学生以下） | 100円 | |
| バリアフ リー浴室 入湯料 | 大人（中学生以上） | 800円 (80分以内) | 1. 1人1回 2. 3歳未満の乳幼児及び介助者は、無 料とする。 3. 利用者は、身体障害者手帳、療育手 帳若しくは精神障害者保健福祉手帳 を所持する者又は要介護認定を受け ている者及び疾病等により一般浴室 の利用が困難な者とする。 |
| | | 600円 (60分以内) | |
| | 子ども（小学生以下） | 400円 (80分以内) | |
| | | 300円 (60分以内) | |
| 休憩室料 | 65歳以上 | 市内在住 1室1時間当たり 400円 | 1. 1室の定員は、6人以内とし、区分 は、利用者が多く属する区分（同数 の場合は、安価な区分）を適用する。 2. 1回の利用は、4時間以内とする。 |
| | | 市外在住 1室1時間当たり 600円 | |
| | 65歳未満 1室1時間当たり 800円 | | |

| 区分 | 料金 | 摘要 |
|---------------------|------------------------------------|--|
| 回数券（年齢共通） | 10枚 2,000円 (1回当たり200円) | 開業後6年目以降は 10枚 2,500円 (1回当たり250円) |
| 2ヶ月パス券 (市民65歳以上) | 3浴場共通で 8,000円 (60日利用で1回当たり133円) | 開業後6年目以降は9,000円 (60日利用で1回当たり150円) |

名称に込めた思い

「赤湯温泉 湯こっと」

「温泉」と「みんなで行こう」
を掛け合わせた言葉。早く新型
コロナが収束して笑顔で温泉に
行けますように。

ロゴマーク解説



温泉マークの揺らいだ線を用い、
あったかい雰囲気に加え、線を
横にすることで、湯に浸かって
いるような雰囲気プラス。
「ゆつくり入って疲れを癒して
ください」と伝えるようなロゴ
マークです。

国民健康保険条例、出産一時金の変更 3施設の指定管理者を「双葉会」に

文教厚生 常任委員会

12月13日

審査報告

付託議案4件

◆国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

産科医療補償制度の掛金引下げに伴い、出産育児一時金の「加算額」が引下げられた。少子化対策の観点から減額分を出産育児一時金として増額し、総額42万円を維持した。

◆指定管理者について
3件

- ・南陽市総合保健福祉施設
 - ・赤湯学童保育施設
 - ・赤湯第二学童保育施設
- 以上の指定管理者を社会福祉法人双葉会とする。

以上4件を審査の結果、全員異議なく可決。
(委員長 殿岡 和郎)

産業建設 常任委員会

12月14日

付託議案なし

行政報告

◆市道蒲生田矢ノ目線の交通事故多発に対する対応

県内で南陽市の交通事故発生件数が他自治体と比較して突出しており、その多くが市道蒲生田矢ノ目線関連であること、また梨郷の和田地内交差点での交通事故が多発していることから、委員より道路管理者としての市建設課の対応について質問があった。

当局より、市道蒲生田矢ノ目線の交通事故

対策として

①交差点に減速を促すランプを設置

②区画線の塗り直し、及びゼブラゾーンの表示

③交差点周辺にポストコーン設置

以上の対応を、今年度内をめどに実施する予定との回答があった。

また、併せて山形県公安委員会に対して当該交差点への信号機の設置の要望を行なっている旨の報告もあった。和田地内の交差点については、ガードレール周辺の雑草除去を行ない見通しを確保することに加え、具体的な対応策を協議中との報告を受けた。
(委員長 片平 志朗)

議案に対する議員の賛否表（賛否がわかれたもの） ○=賛成 ×=反対 議長は裁決に加わらない

第3回 臨時会

11月29日

| 議案 | 議席番号氏名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|
| | 1 伊藤 英司 | 2 佐藤 憲一 | 3 山口 裕昭 | 4 島津善衛門 | 5 高岡 亮一 | 6 高橋 一郎 | 7 船山 利美 | 8 山口 正雄 | 9 片平 志朗 | 10 梅川 信治 | 11 川合 猛 | 12 高橋 弘 | 13 板垣致江子 | 14 高橋 篤 | 15 遠藤 榮吉 | 16 佐藤 明 | 17 殿岡 和郎 |
| 南陽市特別職及び一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ |

県市議会議長会 議会報研修会

期日 11月5日
会場 シェルターなんようホール
講師 東北芸術工科大学
グラフィックデザイン学科
准教授 赤沼明男氏
演題 「デザインの役割」

デザインの役割は、課題を解決する、どう見せるかの2つが挙げられる。最終的には問題解決へ導くための設計と表現を行なうこと。各市の議会報については、余白をある程度多くとることで見やすくなる。表紙から変えてみて新しい読み手を獲得することが良いのではないかと、アドバースがあった。議会報は、相手にきちんと伝える、きちんとした掲載内容であるべきで、嘘は書いていけないとの言葉で締めくくられた。
(伊藤 英司)



宮内 高橋 裕樹さん(35歳)

家庭では2児のパパで、双葉保育園の保育士として、お預かりしているお子さんたちの幸せを第一に考えておられる高橋裕樹さんにお話を伺いました。

■保育士を志したきっかけは

保育園時代の大好きな先生を思い出し、子ども達といっぱい遊べる仕事って楽しいだろうなと思ったことです。

■保育士の仕事で一番大変なことは

子ども達と元気がいっぱい遊ぶための体調を

維持することです。体調が悪いと辛いです。

■保育士として大事にしたいことは

この仕事に携わらせて頂いていることにまず感謝し、一緒に笑って、泣いて、時にはぶつかりながらも「大好き」の気持ちで子どもと向き合っていきたいです。

■南陽市に住んで良かったことは

自然に囲まれ、便利さもあり、美味しい食べ物があるところ。その他にも遊べる施設、歴史、伝統的なお祭りも魅力だと思います。

■子育て支援でこんなことがあったらと思うようなことは

親になり育児にお金がかかることを痛切に

感じました。3〜5歳の保育料無償化は大きな政策だったと思います。他市町村では少しづつ0〜2歳児の保育料無償化の動きが出てるので「子育てするなら南陽市！」是非サポートして頂けたらと思います。

■初夢で「南陽市の将来」を見るとしたら

マスクを外していろんな所へでかけたり、マスクを外したみんなの笑顔が見られる夢を見たいです。

■新しい年を迎えての抱負は

年長の担任で、可愛い子ども達が旅立っていきます。楽しかった思い出を胸に小学校に期待と希望を持って就学できるように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。また、家庭でも娘たちとの時間を大切にしていきたいです。

表紙写真

赤湯地区の5つの橋

2年連続の豪雨災害で、氾濫した吉野川の改修に伴い、赤湯地区5橋の架け替えと妹背橋の撤去が、7年間の月日をかけ完成した。



吉野橋 県道赤湯宮内線上の橋。出入口が急カーブで速度を抑えた安全走行が求められる橋。

花見橋 県道赤湯停車場線上の橋。烏帽子山公園の桜花を一望に収められることから、花見橋と呼ばれたと言う。

湯河原橋 赤湯中への通学路で、生徒や地域住民、車両往来が多い。

花台橋 かつて米沢城下から上山の奥州街道に至る米沢街道。この橋を渡り赤湯温泉から、鳥上坂へと抜けた。

大橋 市南部で高畠町と接する国道13号上の橋。赤湯町史に最上川を上る舟の終点と記述されている。この5つの新しい橋により、豪雨災害のない安心安全な南陽市になるだろう。

ご理解ください

南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状(答礼のため自筆によるものを除く)、諸行事、会合での一切の寄付などは行なっていません。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



職選挙法の規定を守り、虚礼廃止を申し合わせます。

編集後記



今年の干支「壬寅(みずのえとら)」は、厳しい経験をされるほど溢れる生命力が生まれる年になるとの意味があるようです。

コロナ禍で厳しい2年間を経験しました。感染縮小がそのまま維持され、すべてにおいて力強く躍動する令和4年になって欲しいと願っております。

今年も新たな気持ちで、わかり易く、市民目線での紙面づくりに取り組んで参ります。

(山口 正雄)

- 委員長 島津善衛門
- 副委員長 山口 正雄
- 委員 伊藤 英司
- 委員 佐藤 憲一
- 委員 山口 裕昭
- 委員 高岡 亮一

